

【資料】 地方創生交付金事業の実施状況について（令和3年度）

交付金名	事業内容				KPI											R3評価	
	事業名	目的・事業概要	始期	終期	R1内容	R2内容	R3内容	指標	単位	事業開始前の値	R1目標値	R1実績値	R2目標値	R2実績値	R3目標値	R3実績値	効果
地方創生推進交付金	メディカルフィットネス推進事業	新たに地域性を活かした健康増進を推進するため、岩手医大、日本調剤(株)等と連携しメディカルフィットネス施設を運営するとともに、健康チャレンジ事業のさらなる推進と裾野を拡大し医療費の削減を図る。	R1	R3	○メディカルフィットネス施設運営 ・施設賃借、個別運動プログラム実施、人材育成等 ○メディカルフィットネス施設整備 ・フィットネスマシン・サイン、内装、空調等	○メディカルフィットネス施設運営 ・施設賃借、個別運動プログラム実施、人材育成等 ○健康支援事業 ・健康チャレンジ推進	○メディカルフィットネス施設運営 ・施設賃借、個別運動プログラム実施、人材育成等 ○健康支援事業 ・健康チャレンジ推進	本事業によって達成されたBMI適正維持・改善率者の割合	%	60.0	+4.0	0	+3.0	+3.0	+3.0	+5.0	②地方創生に相当程度効果があった ・メディカルフィットネス施設の運営が軌道に乗り、指標を概ね達成することができた。 ・健康チャレンジはメディカルフィットネス施設と連動した取り組みで参加促進を図ったがコロナ禍の影響等で目標値の6割程度の達成度であった。 ・運動・健康講座についてはオンライン等の実施方法を工夫することで開催回数の増加が図られた。
								本事業実施者の目標歩数達成割合	%	34.5	+5.5	+0.2	+5.0	+6.0	+5.0	+3.0	
								運動・健康講座開催回数	回	0	3	0	12	10	18	23	
								健康チャレンジ事業登録者数	人	220	+200	+149	+200	+248	+200	+126	
地方創生推進交付金	まちづくりサポーターを活用した関係人口創出事業	まちづくりの担い手として、地域活性化に関心の高い住民有志を「まちづくりサポーター」として育成し、当町の魅力発信を積極的に行うことで、全国に向け関係人口の創出を図る。	R2	R4	○拠点施設(ハバタック)管理運営	○拠点施設(ハバタック)管理運営 ○まちづくりサポーター育成	○拠点施設(ハバタック)管理運営	まちづくりサポーター登録者数	人	0			+20	+16	+5	+13	①地方創生に非常に効果的であった。 ・まちづくりサポーターについては、オンラインや少人数開催等の実施方法を工夫することで目標を上回る登録数を達成することができた。 ・関係人口及びふるさと納税利用者数については、ネットを通じたPR等の効果もあり目標値を上回る実績となった。 ・個人住宅取得資金利子補給についても、民間金融機関と協力しながら目標を上回る転入増加を図ることができた。
								関係人口登録人数	人	0			+100	+1,960	+200	+2,113	
								ふるさと納税年間利用者数	人	25,793			+2,000	-150	+2,000	+6,289	
								矢巾町個人住宅取得資金利子補給事業による町外からの転入増加人数	人	0			+100	+59	+120	+149	

①地方創生に非常に効果的であった	例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例: 整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合